

HU-plus

広島大学の知に触れる情報誌
Hiroshima University Magazine Vol.31

September 09
2026

挑戦し続ける信念。
最善を尽くし野球・医学を極める人生観。
ゲイル・イートソン・ホプキンス氏
元メジャーリーガー・元広島東洋カープ選手
整形外科医

越智 光夫
広島大学 学長

知の交差点

広島大学が描く、未来のカたち
#5「備える」

特集

theme

備える



平和への誓いと未来を「不滅の学灯」に託す

広島原爆の日の翌日の8月7日、本学発祥の地・東千田キャンパスに建立したモニュメント「不滅の学灯」の除幕式を行いました。このモニュメントは、原爆で犠牲となられた前身諸学校の方々をはじめ、本学に連なる人々が受け継いできた「平和の希求」「知への探究」「社会への貢献」の志を、次の世代へつなぐ象徴として建立しました。

平和の象徴である鳩の翼をモチーフとした大小二つの造形は、それぞれ「原爆ドーム」と「8月6日の日の出」の方角を指し示しています。また碑文には、平和について一人一人が考え、対話し、行動してほしいという願いを込めました。その思いを、次の言葉に刻んでいます。

知を求め集う我らは、古の叡智に学び、問いを未来へと架橋す
 平和は思索と対話、不断の実践の中にこそ宿る
 個の歩みは波紋となりて、世界に広がり、時代の地平を拓く
 平和を希求し、英知をもって未知に挑む志
 これを分かち同窓と教職員の絆は 愛と誇りとして継承され、
 社会を照らす静かな光とならん
 その志を ここに刻む

顧みれば、広島大学は1949年、わが国の国立大学で最も多くの前身校を母体として開学しました。すなわち広島文理科大学、広島高等師範学校、広島工業専門学校、広島高等学校、広島女子高等師範学校、広島師範学校、広島青年師範学校、広島市立工業専門学校、広島県立医学専門学校(後の広島医科大学)の9校です。近代の広島は、多くの学生が集う「学都」でもあったのです。

広島師範学校のルーツとなった白鳥学校は1874年に設立されました。くしくもこの年は、広島県における近代医学教育の源流、広島医学校の先駆けとなる済寿館が仮医学校となった年でもあります。広島医学校は財政難のため、わずか10年余りで廃校になりましたが、医史学の富士川游や、夏目漱石の『吾輩は猫である』の甘木先生のモデルとされる尼子四郎をはじめ、後の日本医学に名を残す多くの医師を輩出しました。

戦前から戦後にかけては、広島文理科大学と草創期の広島大学の教授であった教育学の長田新氏や物理学の三村剛昂氏、さらには広島高等師範学校と広島大学で教授を務めた哲学の森滝市郎氏など、原爆の惨禍を自ら体験しながら、学問の道とともに、それぞれの立場で平和運動にも尽くされた先達の顔が思い浮かびます。

最も古い前身校から数えて150年余りを経た今、私たち広島大学人には、先人たちの熱い思いと行動を胸に刻み、そのバトンを未来へ渡していく責務があると考えています。「不滅の学灯」は、その決意を形にしたものです。卒業生はもとより、本学で勤務した教職員にも広島大学への誇りを共有していただき、過去・現在・未来を結ぶ絆となることを願っています。

その思いを共有する証として、「不滅の学灯」の後方には、趣旨にご賛同いただいた方々のお名前を刻む顕彰掲示板を設けます。9月1日からお名前の掲示を希望される方を募集していますので、対象者や申込方法などの詳細は、本学ホームページをご覧ください。

これからも広島大学は、被爆地の大学として、そして「平和を創る大学」として、対話と教育を通じて平和を担う人材を育成し、核兵器のない世界と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

越智光夫

広島大学の知に触れる情報誌
Hiroshima University Magazine

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)”、【HU】とあなたが“つながる(+)”という願いを込めて。

CONTENTS

01 散詩語録

03 学長対談 知の交差点
元メジャーリーガー・元広島東洋カープ選手
整形外科医
ゲイル・イーソン・ホプキンス氏
広島大学 学長
越智 光夫

06 旬なトピックを世界に届ける HU TIME

07 特集 | 広島大学が描く、未来のカタチ
#5 備える

13 研究者人生を導く 私の座右の銘

15 HU PRISM

19 卒業生インタビュー 私も広大です

21 Focus on! 人から深掘るHU

23 HU-Style

25 HU TOPICS

27 広大生のアクティブライフ!

28 読者アンケート・プレゼント

29 広島大学への寄附・基金

頻発する自然災害の被害を減らすためには、どのような備えが必要なのでしょうか。広島大学では、未来につながるさまざまな防災・減災の取り組みが進められています。

広島大学 SNS

広島大学 (Hiroshima University)

広島大学 | LinkedIn

@Hiroshima_Univ

HiroshimaUniv

Instagramでキャンパスの日常を配信中



Entrusting Our Pledge for Peace and Our Future to 'The Inextinguishable Lamp of Learning'

On 7th August, the day after the anniversary of the atomic bombing of Hiroshima, we held the unveiling ceremony for The Inextinguishable Lamp of Learning, a monument erected on our birthplace campus in Higashi-Senda. The monument was erected as a symbol of our commitment to passing on to future generations the aspirations of the pursuit of peace, the quest for knowledge, and a commitment to serving society. These have been carried forward by all those connected with our university, including members of our predecessor schools who lost their lives in the atomic bombing.

The monument features two sculpted shapes, one large and one small, inspired by the wings of a dove, a symbol of peace. They point respectively toward the Atomic Bomb Dome and the direction of the sunrise on 6th August. The inscription also embodies our hope that each and every person will reflect on peace, engage in dialogue, and take action. This aspiration is expressed in the following words:

Here we assemble beneath the inextinguishable lamp of learning,
 drawing wisdom from the depths of antiquity,
 and carrying our inquiry into the ages yet to come.

Peace is engendered through reflection,
 sustained through noble discourse,
 and realized through steadfast action.
 From each step taken by a single soul,
 ripples spread across the world,
 Opening horizons for generations yet unborn.
 Aspiring unto peace,
 and confronting the unknown with courage and wisdom,

we affirm the enduring spirit shared by all
 who have learned, taught, and labored within these halls.
 May this sacred bond abide forevermore,
 a testament of love and pride, and a quiet light that illuminates society.
 Herein, we inscribe this solemn pledge.

Looking back, Hiroshima University was founded in 1949 through the integration of the largest number of predecessor schools among Japan's national universities. These nine schools were Hiroshima University of Literature and Science, Hiroshima Higher Normal School, Hiroshima Technical College, Hiroshima Higher School, Hiroshima Higher Normal School for Women, Hiroshima Normal School, Hiroshima Youth Normal School, Hiroshima Municipal Technical College, and Hiroshima Prefectural Medical College (later Hiroshima Medical University). Before the war, Hiroshima was not only a regional center but also a distinguished city of learning, where students from across Japan gathered to pursue higher education.

The Hakushima School, from which Hiroshima Normal School traces its origins, was founded in 1874. By a remarkable coincidence, that same year also saw Seijukan, the predecessor of Hiroshima Medical School and a pioneering institution of modern medical education in Hiroshima Prefecture, become a provisional medical school. Although Hiroshima Medical School was forced to close little more than a decade later due to financial difficulties, it produced many physicians who would go on to leave an enduring mark on Japanese medicine. Two such physicians were Yu Fujikawa, the pioneer of medical historiography in Japan, and Shiro Amako, who is said to have inspired the character of Professor Amaki in Natsume S seki's *I Am a Cat*.

As I reflect on the years spanning the prewar and postwar eras, I cannot help but think of those distinguished scholars who devoted themselves not only to the pursuit of learning but also to the cause of peace after experiencing the devastation of the atomic bombing firsthand: Arata Osada, an educator who served as professor at Hiroshima University of Literature and Science and later at the newly established Hiroshima University; Yoshitaka Mimura, a physicist who likewise taught at both institutions; and Ichiro Moritaki, a philosopher who served first at Hiroshima Higher Normal School and subsequently at Hiroshima University.

Now, more than one hundred and fifty years since the founding of our oldest predecessor school, we, the members of Hiroshima University, bear the responsibility of carrying forward the aspirations and deeds of those who came before us, and of passing their legacy on to future generations. The Inextinguishable Lamp of Learning stands as a tangible expression of that resolve. It is our hope that this monument will serve not only as a source of pride for Hiroshima University alumni, but also for all those who have devoted themselves to this university as faculty and staff, becoming a lasting bond that unites its past, present, and future.

As a testament to this shared commitment, a recognition board will be installed behind The Inextinguishable Lamp of Learning, bearing the names of those who endorse the spirit and purpose of this initiative. From 1st September, those who wish to have their names displayed on the board will be invited to apply. For details, including eligibility and application procedures, please visit the Hiroshima University website.

Hiroshima University will continue to fulfill its mission as a university in an atomic-bombed city and as 'a university that builds peace.' We are a university which fosters, through dialogue and education, individuals who carry the cause of peace forward, contributing to the realization of a world without nuclear weapons and a sustainable society.

Shi Mitano

挑戦し続ける信念。

最善を尽くし 野球・医学を極める人生観。

広島東洋カープ時代 広島大学との出会い

越智 今回は、1975年広島東洋カープ初優勝時、大いに貢献されたゲイル・ホプキンスさんにお越しいただきました。野球選手引退後は整形外科医として活躍されています。初めに、“最強の助っ人”として広島東洋カープに入団されるまでのご経歴を教えてください。

ホプキンス 1974年までメジャーリーグでプレーしながら学業にも励んでいましたが、メキシコ医科大学合格を機に医学の道に専念しようと、当時在籍していたロサンゼルス・ドジャースを退団しました。しかし、メキシコに渡る準備をしていた時に、広島東洋カープのジョー・ルーツ監督から熱心な勧誘を受け、入学を延期して来日する決心をしたのです。

越智 広島ではどのような生活をされていたのですか。

ホプキンス 野球と医学の研究を両立する、非常に濃密な日々を送っていました。カープの熱烈なファンだった広島大学医学部の藤田尚男教授と出会い、彼の研究室に通わせていただきました。9時から14時まで研究し、その後球場に向かうといった日もありました。正式な大学編入はしていないのですが、広島大学で医師になるための最初の研究をさせていただけたことを、うれしく思っています。

広島大学 学長

越智 光夫

Ochi Mitsuo

元メジャーリーガー・
元広島東洋カープ選手
整形外科医

ゲイル・
イーソン・
ホプキンス氏

Gail Eason Hopkins

越智 医学と野球を両立するエネルギーに驚きました。藤田教授は名講義をされる先生として知られ、私も受講したことがあります。実は、カープ初優勝当時、私は広島大学医学部の5年生で、大学祭の実行委員長でした。ホプキンスさんに特別講師として大学祭に出演していただきたいと打診しましたが、その期間はアメリカにいらっしゃるとのことで、出演いただけませんでした。

ホプキンス そうだったんですね。越智先生が医学生として研鑽を積まれていた時、私は野球人生の最終局面として、同じ広島の地に身を置いていました。そして現在、広島ので膝を交えて語り合っているのは不思議な巡り合わせです。また、先生は整形外科医として活躍され、現在は学長として大学に貢献されています。私たちは二つの異なる領域でキャリアを築いている点が共通していますね。

少年期の思いを胸に 野球・医学の夢をつかんだ

越智 ホプキンスさんは「一生のうち、35年間は野球選手、残りの35年間は医師として活躍したい」という信念があったとお伺いしました。野球選手を目指すようになったのはいつごろでしょうか。

ホプキンス 幼少期から運動が大好きで、10歳ごろにはメジャーリーグに憧れていました。大人になってもスポーツを続けてきたのは、私の人生の中でごく自然な流

元メジャーリーガー・元広島東洋カープ選手
整形外科医

ゲイル・イーソン・ホプキンス
Gail Eason Hopkins

アメリカ合衆国オクラホマ州出身。1968年にメジャーリーグデビュー。1975年に広島東洋カープに所属し、初優勝に大きく貢献した。広島在住時には広島大学で学び、1981年にラッシュ医科大学で博士号(医学)を取得。1986年に整形外科医として開業。

広島大学 学長

越智 光夫 おち みつお

愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。広島大学病院長を経て2015年から現職。2015年に紫綬褒章を受章。



強打者として活躍した広島東洋カープ時代



れでした。

越智 スポーツへの強い思いを抱く一方で、なぜ医師を目指すようになったのでしょうか。

ホプキンス 中学生のころ、アフリカの村々を回り治療している医師のドキュメンタリーを見て「私もこんなふうに人の役に立ちたい」と思ったことを今でもはっきりと覚えています。この経験が、医師を目指すきっかけとなりました。

越智 野球と医学、両方の夢をかなえられたのは素晴らしいと思います。

広島に縁があるからこそ 平和を追い求める

越智 カープ入団から現在まで、度々広島を訪問していらっしゃいますが、ホプキンスさんと広島の間わりができたのはいつからでしょうか。

ホプキンス 10歳のころ、読書感想文を書くために『ヒロシマ』という本を手に取りました。そこには原爆の悲惨さや広島が受けたダメージが生々しく描写されており、子ども心に大きな衝撃を受けました。それ以来、私は広島に特別な思いを抱いています。

越智 特別な思いとは、どのようなものですか。

ホプキンス キリスト教徒としても、広島に縁がある人間としても、平和を追求する強い思いを持っています。今の世界は大きな混沌の中にあり、日々聞こえてくる残酷なニュースには、信じがたいものもあります。そんな世界で、今こそ人々を平和へと導くリーダーが必要だと考えています。

越智 世界に平和をもたらすためには、何をすべきでしょうか。

ホプキンス 善いことを行い、悪いことを行わない「善い人間」であるためにはどうすればいいのか、人々に教えなければなりません。目まぐるしく発展する世界で、変わらず「善い人間」であり続けるための教育が必要です。

越智 ホプキンスさん自身が平和のために取り組んでいる活動はありますか。

ホプキンス 普段から手紙やメールの署名

何事も最善を目指すこと、そして失敗を恐れずに挑戦することが大事。

ホプキンス



野球と医学の両立を求めた広島での日々
(広島大学医学部藤田先生の研究室にて)



整形外科医としても活動

の後ろに“peace”と添えるようにしています。また「未来へつなぐ 平和への思い カープとともに」をテーマにした「Carp Legend Game 2025」などのイベントに参加し、人々の平和に関する意識の向上を図っています。広島大学では、どういった取り組みをしていますか。

越智 広島大学の理念は「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人の育成」です。具体的な取り組みとしては、全学生が教養教育として履修している平和科目や、2024年から始まった「平和学長会議」があります。平和学長会議には世界各地の大学のトップが参加し、大学が社会に果たし得る役割や、国境を越えた連携のあり方について議論を深めています。今後も、平和で持続可能な社会を構築できる次世代のリーダーを育成していきます。

ホプキンス 広島大学や越智先生をはじめ、世界に平和をもたらそうと努力している組織や人々を尊敬します。

越智 ありがとうございます。最後に、広島大学で学ぶ後輩たちに向けて、メッセージをお願いします。

ホプキンス 何事も最善を目指し、卓越しようという姿勢を持ってください。広島大学に在籍している優秀な皆さんには、その場しのぎでやり過ごすのではなく、どんなことにも常に全力で向き合ってほしいと願っています。また、失敗を恐れず挑戦する姿勢も大事です。バットを振らないと、ボールは当たりません。空振りはあっても、それは経験という貴重な糧になります。

越智 最善を尽くして夢をかなえ、失敗を恐れずに人生に挑戦してきたホプキンスさんだから語れるお言葉ですね。本日はありがとうございました。

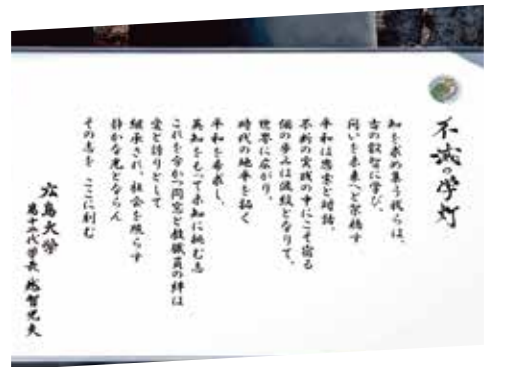
H U TIME

旬なトピックを世界に届ける

平和への思いと知の志を未来へ 東千田キャンパスに誕生したモニュメント 「不滅の学灯」

平和・知・貢献の志を受け継ぐ灯

広島大学は、本学発祥の地である東千田キャンパスに、新たなシンボルとなるモニュメント「不滅の学灯」を建立し8月7日に除幕式を執り行いました。「不滅の学灯」は、原爆の犠牲となられた前身諸学校の人々をはじめ、広島大学に連なる人々が受け継いできた「平和の希求」「知への探究」「社会への貢献」の志を象徴的に可視化し、世代を超えて継承することを目的として整備するものです。被爆地・広島に生まれた大学として歩んできた歴史と理念を未来へつなぐ、広島大学に関わるすべての人々が共有する誇りと使命を次代へ伝える象徴として建立します。さらに、「不滅の学灯」には、「広島大学の平和への思い」と「知を探究し社会に貢献する志」が、100年後、その先の未来においても灯火のように輝き続けてほしいという願いが込められています。高さ約3.5メートルのモニュメントは、広島大学に関わるすべての人々が共有する誇りと使命を静かに伝え続けます。



モニュメント後方には顕彰掲示板を設置し、本事業の趣旨に賛同した同窓生や教職員の名前を刻んだ縦50mm、横15mmのプレートが掲示されます。大学の歩みを支えてきた多くの人々への感謝と敬意を表すとともに、広島大学に連なる人々の絆を未来へ伝える役割も担っています。

「不滅の学灯」は、過去を記憶するためだけのモニュメントではありません。平和を願い、知を磨き、社会に貢献するという広島大学の原点を見つめ直し、その志を次代へ受け渡していくための灯です。この灯に込められた思いに触れてみてください。

ネームプレートへ掲載を
希望する方はこちらから



HU MIRAI DESIGN

広島大学が描く、未来のカタチ

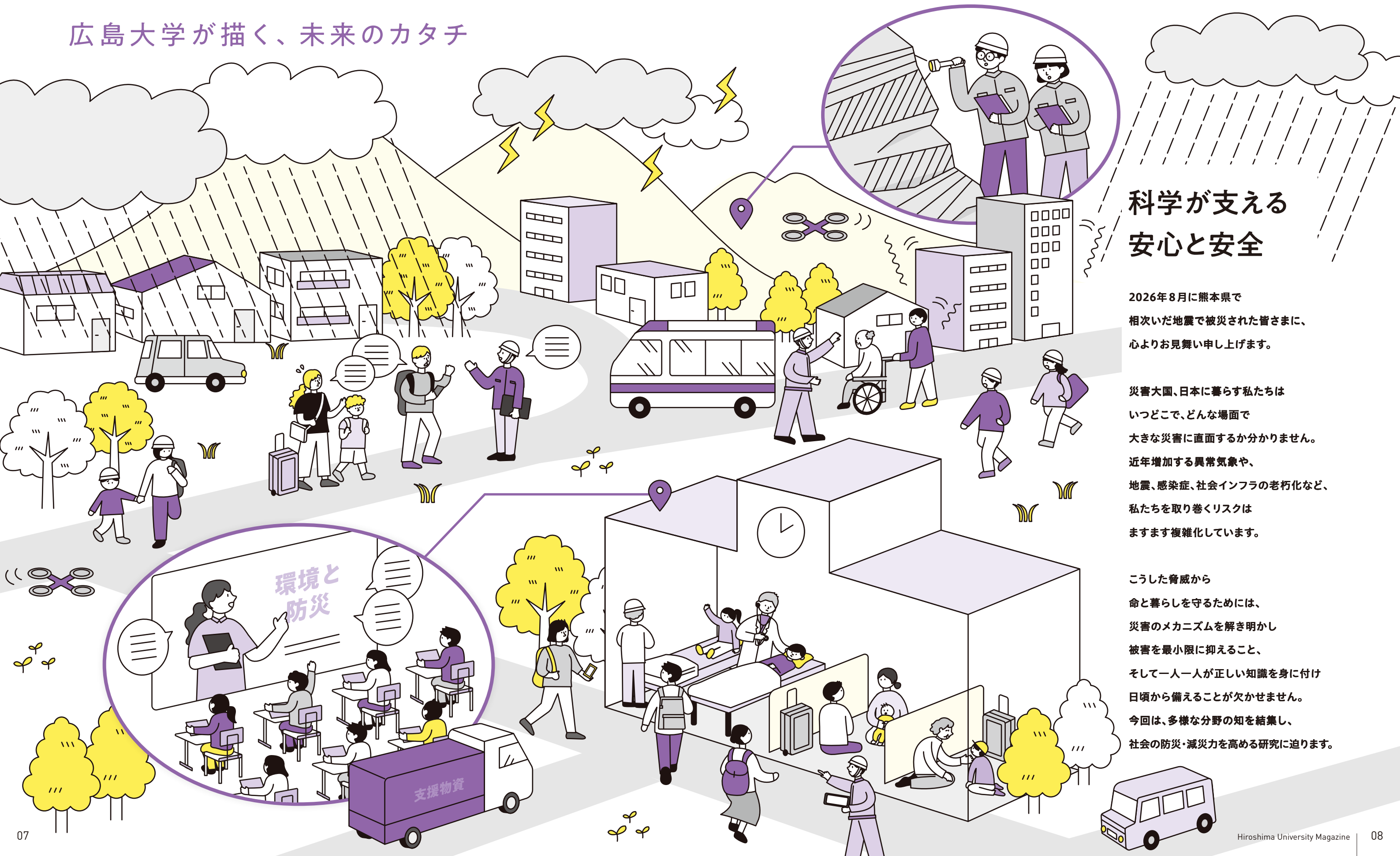
#5「備える」

科学が支える 安心と安全

2026年8月に熊本県で
相次いだ地震で被災された皆さまに、
心よりお見舞い申し上げます。

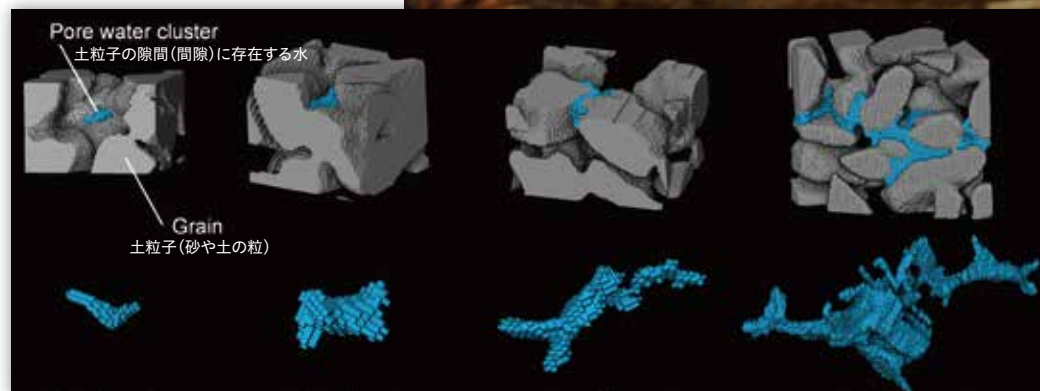
災害大国、日本に暮らす私たちは
いつでも、どんな場面で
大きな災害に直面するか分かりません。
近年増加する異常気象や、
地震、感染症、社会インフラの老朽化など、
私たちを取り巻くリスクは
ますます複雑化しています。

こうした脅威から
命と暮らしを守るためには、
災害のメカニズムを解き明かし
被害を最小限に抑えること、
そして一人一人が正しい知識を身に付け
日頃から備えることが欠かせません。
今回は、多様な分野の知を結集し、
社会の防災・減災力を高める研究に迫ります。





見えない力を 科学で捉え 未来を守る



土の内部における水の存在状態をX線CTで可視化した図。水が少ない(左側)と土粒子同士をつなぎ、多くなると粒子間の隙間を埋める(右側)ように分布する。

自然界の微生物の働きや
地盤内部の小さな変化。
目に見えない現象を解き明かし
防災・減災の可能性を探ります。



地盤災害の メカニズムを X線CT解析で 可視化する

木戸 隆之祐 准教授 大学院先進理工系科学研究科 専門:土木工学

近年、集中豪雨の頻発により、斜面崩壊や土石流、地滑りなどの土砂災害が増加しています。河川の氾濫や堤防の決壊、下水管の老朽化に伴う道路陥没など、身近な場所でも降雨や地下水位の変化による災害が多く見られるようになりました。

私はX線CT解析を用いて、これまで見ることのできなかった土の内部構造を可視化し、災害につながるメカニズムの解明に取り組んでいます。地盤に含まれる土粒子・水・空気の結び付きの変化を調べたところ、豪雨時には雨水の浸透によって土粒子同士の結合が弱まり、斜面崩壊や堤防

の決壊につながるようになりました。地盤災害は突然発生したように見えても、過去の乾燥や湿潤の繰り返しによって徐々に進行している場合があります。その仕組みを理解することが、災害の予測や防止には欠かせません。

将来的には、土砂災害の発生予測の高度化や、より安全な土構造物の設計に貢献したいと考えています。また、研究成果を広く社会に発信し、災害が起こる仕組みへの理解を深めることで、一人一人の防災意識を高め、災害に適切に備えられる社会の実現を目指します。



微生物の力で 画期的な 防災・減災技術を 開発

畠 俊郎 教授 大学院先進理工系科学研究科 防災・減災研究センター長
専門:土木工学、地盤工学

私が注目しているのは、微生物の持つ力です。発酵食品の製造や排水処理などで、私たちの暮らしを古くから支えてきた微生物。その働きを建設分野に応用することで、新たな防災・減災技術の実現を目指しています。

例えば、微生物の働きを利用した地盤改良です。現在はセメント系固化剤を地盤と混合する工法が一般的。一方、微生物は非常に小さく、水が浸透する場所であれば施工できるため、微生物

を用いた技術が実用化されればさまざまな場所の地盤改良が可能になるでしょう。また、微生物の働きによって大気中のCO₂を地盤に固定化して強度を高めれば、地球温暖化対策と防災・減災機能の強化を同時に実現できるかもしれません。微生物の力を生かした技術をさらに発展させ、安心・安全で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

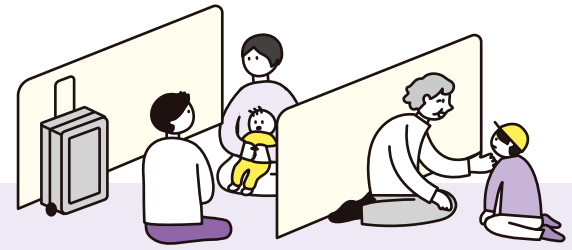
災害に備えるためには技術の進歩だけではなく、一人一人の意識の向上も欠かせません。広島大学防災・減災研究センターでは、これまで培ってきた多様な知を社会へ広く発信するため、オープンディスカッションや講演会を積極的に開催しています。ぜひ一般の皆さまに参加いただき、災害に強い地域社会をつくっていききたいですね。



試験に用いる微生物培養状況



被災箇所復旧状況調査(広島県山県郡北広島町)



地図に記された情報から 土地の特性や 災害リスクを理解する

私は地理情報システム(GIS)を活用し、災害に強いまちづくりの実現を目指しています。GISとは、地図をコンピュータ上で扱う技術のこと。災害リスクや避難経路、支援が必要な方の居住地など、さまざまな情報を地図上で重ね合わせることで「危険性の高いエリアにどのような人が暮らしているのか」といった、一歩踏み込んだ地域の実態を可視化できます。2018年の西日本豪雨では、三原市の災害ボランティアセンターで、学生とともにGISを用いて被害状況などをまとめた地図を作成しました。現在も避難支援マップを作るなど、地域住民と協力しながら防災活動に取り組んでいます。

災害への備えとして大切なのは「地理を観る」力を養うことです。昔の人々は土地の特性をよく理解し、災害リスクの高い場所を避けて暮らしていました。ハザードマップを活用して自分の住む土地を理解することが、適切な備えや避難行動につながります。これからも研究を通して、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献していきます。



災害ボランティアセンターで地図づくりに取り組む学生たち



田中 貴宏 教授

大学院先進理工系科学研究科
専門：建築学、都市計画・建築計画

紫外線照射などの技術開発で 安心できる避難所環境を実現

災害時、避難所となる体育館や公民館には多くの人が集まり、いわゆる「3密」と呼ばれる環境でさまざまな感染症が広がる恐れがあります。そこで私は、天井付近の空間に紫外線を照射する装置を設置し、人には影響を与えることなく、低コストで空気中の病原体のみを不活性化する技術の開発に取り組んでいます。十分な換気が難しい避難所でも、空気環境を安全に保ち、感染拡大を防ぐことが期待できます。他にも、広島大学では診断キットやワクチンの開発など、有事の際に社会を支える技術や製品の開発を進めています。

こうした技術的なアプローチで対策を進める一方、一人一人がいざという時に適切に行動できることも大切です。これまで未知の感染症が発生した時、人間は誤った情報に左右されるという過ちを繰り返してきました。平時から情報の真偽を見極める眼を養うこそが、災害や感染症流行時などのいざという時に適切な行動を取るための力になるでしょう。



紫外線照射装置(提供 岩崎電気)



大毛 宏喜 教授

広島大学病院副院長、
感染症科長
専門：感染症学、消化器外科

技術で支え、つながりで守る。 いつかの「もしも」に備えよう

災害に備えて防災グッズを準備することはもちろん大切ですが、社会全体で多様な視点からアプローチすることも欠かせません。広島大学では、技術開発やコミュニティ形成など、その知を未来への備えにつなげる研究が進んでいます。



在日外国人と日本人が 災害時に助け合える 地域コミュニティを形成

災害時には、外国人(日本語を母語としない人)が情報面で困難に直面することが課題となっています。災害情報が多言語で発信されていたとしても、どのように行動すべきか判断するための知識がなく、相談できる人も少ないため、適切な避難につながらないのです。そこで、災害発生前から外国人と日本人が互いに支え合える「共助」の関係性を築いておくことが重要だと考えます。

私は外国人を含めた地域のコミュニティ形成を目的に、LEGO®を活用した防災学習ワークショップを開催しています。避難所は、いわばまちの縮図。多様な人々が居心地よく過ごせる空間をつくるためには、互いの価値観や考え方を知ることが欠かせません。外国人と日本人が協力してLEGO®で理想の避難所をつくる過程で、対話による相互理解を深めてほしいと思います。そして「明日から台風ですね」などと気軽に声を掛け合える関係性を育み、異なる価値観を持つ人々が共に暮らすまちづくりを実現していきたいです。



ワークショップの様子



小口 悠紀子 准教授

大学院人間社会科学研究所
専門：日本語教育学、教授法、第二言語習得



草原 和博 教授

大学院人間社会科学研究所
専門：社会科教育学、教科教育学、市民性教育

知や他者との出会いから 子どもたちの防災意識を高める

私は「自然災害からくらしを守る」をテーマにした防災・減災教育を行っています。2025年度は広島県、北海道、鹿児島県の25の小学校をオンラインでつなぎ、833人の児童に参加してもらいました。過去の災害の記録や、地域による防災対策の違いを学んだうえで、命を守るために必要なことを参加者全員で検討しました。子どもたちは意見の交流を通して、個人と社会が一体となって災害対策に取り組む重要性や、正解が一つではない課題に向き合う姿勢を学びました。災害への備えで大切なのは、地域に蓄積された防災への教訓を知り、多様な人との対話を重ねながら、自分ならどう行動するかを考えることです。こうした学びこそが防災意識を高め、より確かな備えにつながるでしょう。学校には、子どもたちが多様な知見に出会い、考えを深める場をつくる責任があります。子どもたちが共に課題解決を考える教育環境を広げるため、今後もシステムや制度づくりに取り組んでいます。



自校の避難訓練を紹介



「見る」から「守る」へー社会を動かす技術に

宇宙から海を読み解く海洋リモートセンシング

わたし ざゆう めい
研究者人生を導く私の座右の銘

最先端の研究に挑み続ける研究者たち。困難に直面した時や決断を迫られた時、そして成功の瞬間に彼らを導いてきた言葉とは何か。日本科学技術ジャーナリスト会議に所属するライターが、「座右の銘」から研究者の人となりを紐解きます。

座右の銘

人間到處青山有り

人間はどこにでも骨を埋める場所(青山)くらいはあるので、故郷にとらわれず広い世界へ出ていくべきだ。

衛星データとAIの活用で
カキ養殖業を守る

瀬戸内海では、かつての深刻だった赤潮などの公害を克服するために水質改善が進められてきました。その結果、海をきれいにしすぎたことで、カキの餌となる植物プランクトンが減りすぎるという新たな課題が生じています。そのため、一部の地域では下水処理基準をあえて緩め、植物プランクトンの成長に必要な栄養分を海に戻す「緩和運転」が行われています。

この取り組みで活躍するのが、先進理工系科学研究科の作野裕司教授の研究分野である「海洋リモートセンシング」です。人工衛星やドローンなどとAIを用いて海の状態を可視化・分析し、改善につなげる研究に取り組みます。カキ養殖業の保護のほか、船舶の自動運航支援や地球温暖化対策への応用も目指します。

海洋交通や
海の環境保護にも貢献

呉市はかつて造船の街として栄えましたが、造船業の衰退や製鉄所の撤退、若

者の流出が深刻です。船員不足で離島航路の存続も危ぶまれる中、作野教授は衛星測位システムや合成開口レーダー(SAR)による海上障害物自動回避システムの構築に着手し、船舶の自動運航支援と離島航路維持を目指します。これにより従来よりも人手を減らした運航が可能になれば、地域の交通を守ることにつながります。

地球温暖化対策にも応用は広がります。海の植物プランクトンは、陸の植物に匹敵するCO₂を吸収するといわれ、リモートセンシングでプランクトンを把握することで、海がどれだけ地球を冷やしているかを正確に見積もれます。また、海藻や藻場がCO₂を吸収する能力を指す「ブルーカーボン」にも注目。従来コストがかかるダイバーによる藻場の分布調査を、衛星やドローンで効率的に行おうというものです。さらに、海と淡水が混ざる「汽水域」を温暖化の影響をいち早く現れる場所と位置付け、環境評価とモニタリングをしています。

作野教授は「海洋リモートセンシングと関係の深い宇宙、AI、ビッグデータといった夢のある先端分野を呉の新たな基幹産業に結びつけていくことで、地域が

活性化し、新たな雇用機会が生まれれば」と語ります。

紆余曲折から
自分の場所を創り出す

今でこそ理系の研究者であり教育者である作野教授ですが、高校までは文系でした。大学では漠然と小学校教員を目指していましたが、2年次に大きな決断をします。理系に強くなりたいという思いと、白衣姿への憧れから心機一転、理科を専攻することにしたのです。専門知識の不足に苦労しながらも「興味さえあれば頑張れる」と研究に挑み、一つ一つ成果を積み重ねてきました。そして現在、指導する学生には、与えられた研究をするのではなく「自分自身の研究」であると意識するように指導します。調査船での実習では、一人一人に責任ある役割を与えることで、自ら考え、最後までやり抜く力を育てています。そこで培われる思考力と責任感、将来どの分野でも通用する財産です。「人間到處青山有り」——志を持てば、どこに身を置いても自分の道を拓ける。作野教授の教育の根底には、そんな信念があります。



大学院先進理工系科学研究科教授

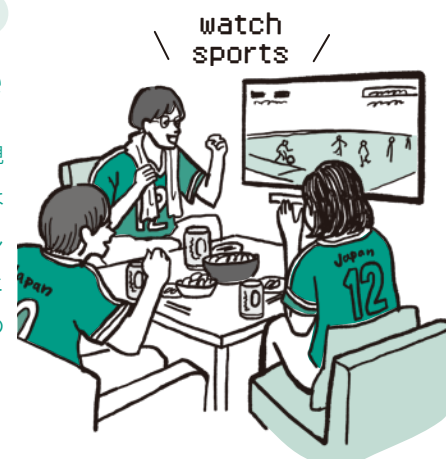
作野 裕司

さくの・ゆうじ／鳥取大学教育学部小学校教員養成課程を卒業。島根大学大学院理学研究科地質学専攻修士課程を修了。東京大学大学院工学系研究科地球システム工学専攻博士課程を修了し博士(工学)。2007年に広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻助教を経て、2014年にエネルギー・環境部門准教授、2024年から広島大学大学院先進理工系科学研究科輸送・環境システムプログラム教授。

作野先生の息抜きは？

ほっと一息 Break time

野球やサッカー、卓球などのスポーツ観戦でリフレッシュしています。かつては学生を自宅に招き、焼肉を囲んで観戦したことも。SNSを通じて旧友や卒業生と交流するなど、大学の枠を超えた人とのつながりも楽しみの一つです。



HU PRISM

広島大学は、さまざまな形で社会とつながっています。
プリズムが光を分散させるように、
多角的な視点からその取り組みを映し出します。

EVENT

学内外で行われたイベントを
ご紹介します。

広島大学の
お知らせ記事もチェック >



第6回平和学長会議を開催。 平和で持続可能な社会の実現を目指す



2026年8月6日、広島大学東千田キャンパスの慎思棟（しんしどう）SENDA LABで第6回平和学長会議を開催しました。平和学長会議は広島大学の呼びかけによって日本国内、世界各地から大学が集い議論する国際的な取り組みです。平和で持続可能な社会の実現に向け、大学間の対話と協働を促進することを目的としています。2年前から実施し、各回で定めた具体的な方針は平和学長宣言にとりまとめています。

今回はその宣言の趣旨に賛同した11カ国・地域17大学の学長らが出席。アメリカのアリゾナ州立大学やイギリスのシェフィールド大学など世界の大学に加えて、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、広島市立大学など日本国内の大学も参加しました。

現在、世界は紛争や環境破壊、経済格差などさまざまな課題を抱えています。そこで、会議では「平和と持続可能性」をテーマに、各大学の平和に関する取り組みの共有や議論を交わし、大学が持つ知見を結集し、世界が直面する課題の解決に向けて協働していくことの重要性を確認しました。また、8月5日には初めてとなる第1回平和学長会議専門会合を開催し、SDGs達成期限である2030年以降を見据えた新たな仕組みづくりについて「Beyond SDGs」をテーマに議論しました。

広島大学は被爆地広島に開学した大学です。今後も「平和を希求する大学」として世界と日本の大学をつなぐハブとなり、対話を通じて平和な未来への道筋を探り続けます。



広島大学とエジプト政府の関わりを
ご紹介します。

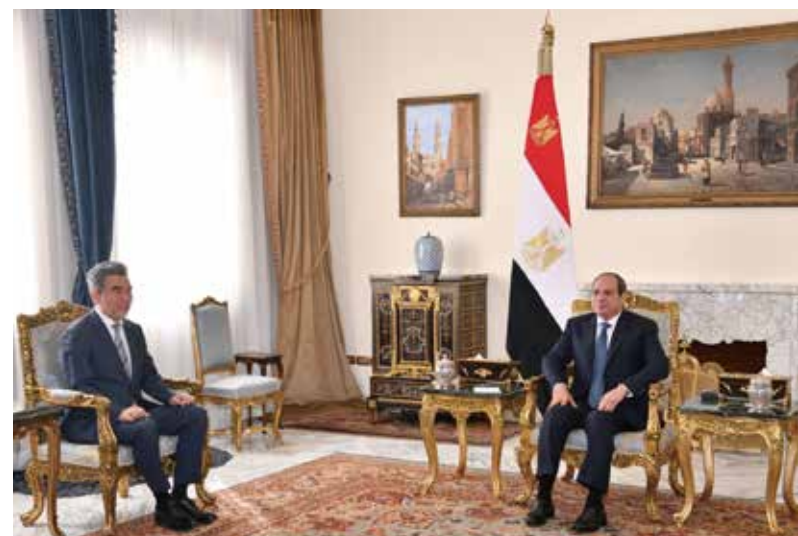
日本型教育でエジプトの未来を拓く 人材育成・経済発展を進める国際教育協力の協定を締結

2026年4月29日、広島大学の越智光夫学長はカイロで、アブドゥルファッターハ・エルシーシ大統領を表敬訪問し、約40分にわたり会談を行いました。会談では日本とエジプトの教育分野における協力の進展を確認すると共に、教育や医療分野を含む今後の連携について意見交換が行われ、大統領からは日本型教育への深い尊敬と広島大学への期待が示されました。

日本型教育の知見を活用した初等教育教員向け養成プログラムでは、広島大学とエジプト教育・技術教育省、株式会社スプリックスの3者が協定を締結。2年間のパイロット・プログラムを通じて、エジプトにおける教員養成の質向上・高度化を図ります。本学は学術パートナーとしてプログラムの学術設計および教育の質保証を担うと共に、カリキュラムや教材の提供、授業の実施および指

導を行います。また、エジプト高等教育・科学研究省とは、半導体技術をはじめとする先端科学技術分野における高度人材の育成を推進する国際教育協力に関する協定を締結しました。広島大学とエジプト日本科学技術大学（E-JUST）による修士ダブルディグリープログラムでは、参加するエジプト人学生のうち年間10人に、エジプト政府から奨学金が支給されます。

このほか、エジプトの高校生を対象とした金融リテラシー教育を全国規模で導入する取り組みも始まります。本学は学術パートナーとして、国際的な基礎学力検定の学術的妥当性の検証などを担います。昨年10月に始まったAI・プログラミング分野での取り組みでは、すでにエジプトの高校生100万人以上が同検定を受験しており、今回はその取り組みを金融リテラシー分野へと発展させます。



エジプト・アラブ共和国のエルシーシ大統領（右）と会談する越智学長
©Spokesman for the Egyptian Presidency

広島大学の
お知らせ記事も
チェック >





「ワクチン・治験薬製造拠点棟」が
9月に竣工しました。

広島大学は経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に大学として唯一採択され、2026年9月に霞キャンパスにワクチンや次世代の革新的治療薬の治験薬製造拠点が竣工しました。本施設は感染症のパンデミックなどの有事に、国の要請に応じてワクチン治験薬を迅速に製造・供給する役割を担います。平時には大学や研究機関、スタートアップ企業などが開発した新たな医薬品候補について、治験に必要な少量の原薬や製剤の製造を行うことができます。

日本では、治験段階に必要な少量製造に対応できるGMP（製造・品質管理基準）対応施設が限られており、有望な研究成果があっても臨床応用へ進める環境が十分とはいえません。本施設は、有事と平時の双方で活用できる国内でも希少な拠点としてアカデミアや企業によ

る創薬研究を後押しし、新たな医療技術の社会実装を加速させることが期待されています。

さらに本学では、国際的な製造・品質管理基準に対応できる高度専門人材の育成を目的として「PSI GMP教育研究センター」を設置しています。製造技術だけでなく、品質保証や規制対応など実践的な教育を行うことで、医薬品産業を支える人材の育成にも取り組んでいます。治験薬製造拠点とPSI GMP教育研究センターを一体化したことにより、本学は基礎研究から治験薬製造、広島大学病院における臨床研究・開発までをシームレスにつなぐ研究開発体制を構築しました。世界水準の創薬研究を推進すると共に、感染症対策や革新的な医療の実現を通じて、人々の健康と社会の安全・安心に貢献していきます。



ワクチン・治験薬製造拠点棟



東広島キャンパスに新たな研究拠点が
誕生しました。

最先端研究拠点「Science Knot」が今春オープン！ 産学共創を通じて、新たなイノベーション創出へ



Science Knot



学生たちでにぎわう「知るカフェ」

2026年3月27日、広島大学は新たな産学共創拠点「Science Knot(サイエンスノット)」を東広島キャンパスにオープンしました。本施設には、文部科学省が支援する「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」のもと発足したWPI-SKCM²(持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所)や、本学発スタートアップ企業をはじめ多数の企業が入居しており、100人規模の研究者や学生、企業関係者らが最先端の研究を行っています。具体的には、WPI-SKCM²が開発を目指す新素材「キラルノット超物質」や、広島大学が高い技術力を誇る半導体の共同研究を中心に取り組んでおり、分野組織の壁を超えた産学共創の実現によるイノベーションの創出を目指しています。

1階には、最大5次収差まで補正可能な二重収差補正ダブルコレクター(画像のボケ防止装置)を搭載した高性能電子顕微鏡(JEM-ARM200F NEOARM)を中国四国地域で初めて設置するとともに、学内外の研

究者や企業ができる共用施設として「JEOLEX Hiroshima University Knotted Room」を開設しました。この原子レベルまで鮮明に観察できる設備と、広島大学放射光科学研究所(HiSOR)の可視化技術を組み合わせることで、これまでにない高度な研究が可能になります。さらに、オープン型の研究スペース、コワーキングラウンジ、ミーティングエリアのほか、3～5階には最大15社が入居できる企業向けスペースも用意されています。施設内1階には、企業と学生が少人数で交流できるキャリア支援カフェ「知るカフェ」も併設されています。研究関係者以外の人も立ち寄れるスペースとなっているので、ぜひ一度足を運んでみてください。



高性能電子顕微鏡
JEM-ARM200F NEOARM

Science Knot内
オープンイノベーションラボへの
入居企業募集中



WE ARE FROM HIRODAI

私も広大です

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されている卒業生の方々に、現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。



共に働く仲間の力を引き出し

安全で高性能な車両を開発する

工学部第三類出身
鶴山 敦子さん
マツダ株式会社
クルマ開発本部 車両実研部主幹

つるやま・あつこ／富山県出身。高等専門学校を卒業後、広島大学工学部第三類に編入学。2008年に卒業し、マツダ株式会社に入社。強度実研グループに配属され、自動車の車両ボディの強度性能や技術の開発に携わる。2025年より車両実研部主幹を務める。

広大のここがええね！

特に陸上部や生物化学研究室の仲間にはよく助けられました。広島大学での人との出会いを通じて「仕事は一人でするものではない」という価値観を持つようになりました。

ものづくりや
食品分野への興味を
探究に変えてきた学生時代

子どもの頃からロボットコンテストの観戦が好きで、ものづくりへの興味から高等専門学校（高専）に進学しました。高専では食品系分野に関心を持ち、生物化学を専攻。さらに専門性を深めたいと考えていた中、高専時代の陸上部の先輩が広島大学で研究する姿に刺激を受けて、同じ大学に編入学しました。

入学後も陸上部に所属し、跳躍競技や混成競技に打ち込みました。工学部の生物化学研究室では、ビール製造時に廃棄

される麦芽の有効活用をテーマに、酵母について研究。英文献の輪読など苦労することもありましたが、仲間や先輩のサポートのおかげで乗り越えられました。

仲間の強みや思いを生かし
人の心を動かす車づくりを

就職活動では、大学での研究を直接生かせる食品や香料の研究開発職を中心に探していました。しかし、理系学生の採用では大学院修了者を重視する企業が多く、苦戦。そんな中でマツダ株式会社を志望したのは、人にわくわく感を届けるものづくりに魅力を感じたためです。

入社後は車体の強度性能を高める開

発部署に配属されました。初めて携わったMAZDA CX-5の設計では、自分が提案したボディの形状が実際の車両に採用され、大きな達成感を味わいました。その後も経験を積み、現在は部署全体の開発や人材育成、業務効率化の推進を担当。1台の車の開発にも、多くの部署の人がこだわりを持って携わっている。そこに関わる一人一人の強みや思いを大切にしています。これからも仲間と協働し、より良い商品づくりに貢献していきます。

広島大学で学ぶ学生には興味を持ったことには挑戦し、積極的に人に会ってほしいと思います。

野球に打ち込み、
さまざまな人と出会った4年間

幼少期から野球三昧の毎日でした。硬式野球部のある高校に進学できなかったのが悔しく、大学で改めて取り組みたいと広島大学に入学。念願かなって野球部に入りました。地元志向が強かったのも広島大学を選んだ理由の一つです。学業と野球を両立する中、限られた練習時間でも強い相手に勝つため、当時の指導者から頭を使ってプレーするよう教わりました。巨大な存在への立ち向かい方を、野球を通して学べたと感じています。また、在籍していたゼミでは、賑やかな雰

被爆の記憶を風化させない。 広島から世界に伝えるメッセージ

広大のここがええね！

ありのままの自分をさらけ出せる場所です。縦にも横にも交流がしやすく、自然と良い人間関係が育まれる環境が魅力です。また、自然に囲まれた広大なキャンパスの中で、ゆとりをもって学習できるのも良いところだと感じます。

法学部出身
石田 芳文さん
公益財団法人
広島平和文化センター
広島平和記念資料館 館長

いしだ・よしふみ／広島県出身。1986年広島大学法学部法学科を卒業後、広島市役所に入庁。2011年4月から2014年3月まで被爆体験継承担当課長を務める。2024年4月、現職に就任。

囲気で勉学に励んでいました。ゼミの仲間とは卒業後も同窓会で交流し、長い年月にわたって人間関係を深めています。

「自分事」として捉えてほしい。
惨劇を伝え続ける使命

卒業後、広島市職員として働く中で、親しい人を原爆で亡くした被爆者の方が語る凄惨な経験を聞く機会がありました。こんな凄惨なことを二度と繰り返してはならないと強く感じた経験が、広島平和記念資料館の館長としての原点となっています。

資料館の展示は、被爆者の体験を来館者自身の日常や人生と重ねて受け止め

られる内容になっていますが、一部の小中学生には精神的負担が大きすぎるものが課題となっています。現在整備を進めている子ども向けの別室展示では、衝撃の強い内容について、子どもたちが自身の関心や心情に応じて選択の余地がある展示方法を検討しています。

また、館長として海外各国の要人を案内する際には、自身の政治信条やバックボーンにこだわらず、一人の人間として展示に向き合ってもらいたいと考えています。原爆の非人道性を肌で感じることで核兵器のない世界の実現につながります。さまざまな人々に被爆の実相を知ってもらうため、これからも力を尽くしていきます。





文学部棟ロビーでは、有名なハンムラビ法典のレプリカを見ることができます。



太陽の光で明るいマーメイドカフェ。毎週留学生と楽しくお話ししています。

株式会社watous代表取締役
みや ざき ゆう だい
宮崎 雄大 さん
医学部医学科6年

さまざまな視点から医療分野にアプローチ!



歴史学から人の真理を解く!

みや もと あや め
宮本 彩芽 さん
大学院人間社会科学研究科
博士課程後期3年

パシャっと!
Campus snap



中央研究棟脇の庭園は、授業の気分転換に最適。落ち着ける場所です。



作業に集中したい時は凌雲棟の勉強スペースをよく利用しています。

現場の課題に着眼した技術で リハビリの効果測定や 労災予防を支援する

研究室でいかに優れた技術が生まれても、人材や資金などの条件がそろわない限り患者のもとに届きません。その事実を、医療を学ぶ中で痛感しました。そこで大学を1年間休学し、ベンチャー投資ファンドのDIMENSION株式会社でフルタイムインターンに参加。起業家に必要な素養を身に付け、株式会社watousを起業しました。

した。主な事業は、AIやアプリ技術を搭載した製品の受託開発と人体の動作解析システムの開発です。医療的な妥当性、利用者にとっての実用性、導入先の事業者の運用まで、長く利用されるサービス開発を追求しています。

動作解析システムはスマートフォンで撮影した映像から、骨格と動きをAIが自推定します。専用スーツや体に取り付けるマーカーなしで撮影から分析までを一貫体制で整え、リハビリの効果測定や労災予防に役立てます。言葉による動作説明

の難しさに着目した点と技術の新しさが評価され、第32回ひろしまベンチャー助成金の学生枠で、HIROSHIMA Next Venture Grand Prix Awardを受賞しました。今後も医療・福祉現場の課題を解決すべく臨床実践で得た知見を生かしたサービスを構築し、全国の患者に多様な技術を届けていきます。



ドイツ留学を通して エジプト学を 徹底的に学ぶ

学部時代からエジプト学を専攻し、史料に記述されている古代エジプトの神殿儀式について研究しています。現在は、その儀式が当時のエジプト社会で果たした役割や目的を解明しようと試んでいます。

この研究を深めるため、エジプト学の世界的な研究拠点であるドイツのエパーハルト・カール大学テュービンゲンに留学

しました。一から徹底的に学ぼうと史料の読解講義をいくつも受講し、原文を翻訳するスキルや思想的な背景を分析する力を身に付けました。また、古代オリエント地域の横断的な研究を担う古代近東研究所の図書館も活用。日本にはない充実した環境下で、エジプト学への知見を広げられたと感じます。この留学を通して以前より深く史料分析ができるようになり、神殿儀式と宗教や行政、天文学などとの関係性が見えてきました。

歴史学は史料を通して、過去の人や社



会と向き合える面白い学問です。古代のエジプト人が抱いた葛藤や喜び、願いを読み取ると、現代にも通じる普遍的な人間の営みを見出すことができます。この発見が多様な文化や価値観への理解につながると信じ、今後も古代エジプトの人々の思想や社会を明らかにしていきたいです。

留学生に聞いた!

世界から見た 広島大学

広島大学は、世界からどのように見られているのでしょうか?実際に広島大学で学ぶ留学生に、大学の印象や日本での学びなどについて聞いてみました。

モンテ ギレーミ
Monte Guilhermeさん
大学院先進理工系科学研究科
博士課程後期1年
国籍:ブラジル



Q2 研究室の雰囲気は?

A2 とても居心地が良い環境で、自分のペースで集中して研究できています。デスクに植物や小物を置いたり、コーヒーを持参したりするうちに、いつの間にか安心できる自宅のような場所になりました。優しい仲間たちと、研究の合間に交流できるのも楽しみの一つです。

A1 何事にもアクティブ!

日本でも有数の国立大学として高く評価されていることは、来日前から知っていました。実際に、予想以上に幅広い領域で質の高い研究が行われており、日々大きな刺激を受けています。また、部活動やサークル活動も盛んで、さまざまな面でアクティブな大学だと実感しています。

Q3 入学後、どんな変化がありましたか?

A3 国際交流イベントなどを通して多様な文化や世界の課題を知り、いろいろな物事に広い関心を持つようになりました。現在は都市計画について研究中。将来は培った国際的な視点をかけあわせ、持続可能なまちづくりに携わりたいと考えています。



Q1 広島大学ってどんな大学?



Q2 日本に来て印象的だったことは?

A2 日本人の時間を大切にする姿勢です。会議の5分前には参加者がそろい、予定通りに進行するなど、他者への敬意を実感する場面が多く、日本人々や文化がますます好きになっています。こうした日々の体験を通して、今では日本は私にとってかけがえない“第二の故郷”になっています。

A1 留学生への支援がすごい!

広島大学は留学生をとて温かく迎え入れてくれる大学です。教職員の皆さんが常に親身になって支えてくださるおかげで、言語の壁を感じることなく、安心して学びに集中できています。また、優れた研究実績や充実した国際連携、地域の方々との交流などがある点も魅力です。

A1 自然豊かな環境が魅力!

来日前から、広島大学は自然に囲まれた落ち着いた大学という印象を持っていました。実際に訪れてみると、キャンパスが広く、自然豊かな環境が広がっていました。そのような恵まれた場所で、専門分野である環境化学や環境問題について学べることをうれしく思います。

ポール クリスチャン
Pohl Christianさん
総合科学部国際共創学科2年
国籍:オーストラリア



Q2 放課後や休日は何をしている?

A2 合気道部に所属し、日々稽古に励んでいます。また、アルバイトを2つ掛け持ちしており、勉強と両立させながら充実した学生生活を送っています。休日は安芸津町や北広島町など、四季折々の自然を楽しめる場所に出かけています。

カベレ
Khavere Beverlineさん
大学院医系科学研究科
博士課程前期1年
国籍:ケニア



Q3 大学ではどのようなことを学んでいますか?

A3 遠隔医療やデジタルヘルス技術を活用した、眼科医療へのアクセス向上や治療効果の改善について学んでいます。母国ケニアでは医療が行き届かず、予防可能な失明や視覚障害が課題となっているからです。将来は誰もが質の高い医療を公平に受けられる環境づくりに貢献したいと考えています。



Q3 将来の目標を教えてください。

A3 大学院に進学し、環境化学のより専門的な研究に取り組みたいと考えています。修了後は広島県で就職し、大学で学んだことを生かして地域や社会に貢献できる仕事に携わり、長く広島で暮らしていきたいです。



全12学部・4研究科・1研究院から
注目トピックをピックアップ。
広島大学の最新情報を紹介します。

学部情報

大学院情報

大学の動き

アイダホ大学広島キャンパスが開校 半導体分野の国際人材育成を推進

広島大学を拠点として、米国・アイダホ大学の日本校「アイダホ大学広島キャンパス」が8月21日に開校しました。初年度は5カ国・地域から17人の学生を迎え、半導体分野を中心とした学士課程「MESA (Microchip Engineering & Security Alliance)」プログラムを開始しました。学生は広島大学で専門基礎教育や教養教育などを受けた後、アイダホ大学へと学びの場を移し、専門性を高めます。日米両国の大学や企業が連携した実践的な教育により、世界的に需要が高まる半導体分野で活躍する高度専門人材の育成を目指します。広島大学は、世界につながる半導体人材育成の拠点として、国際教育・研究のさらなる発展を推進していきます。



総合科学部

総合科学部長室前に寄附・各種支援へのお礼パネルを設置

同窓生の村上清貴様((株)村上農園代表取締役社長)からいただいたご寄附ならびに広報誌「飛翔」への継続的なご支援への感謝を込め、総合科学部長室前にお礼のパネルを設置しています。



文学部

広島大学文学部 公式SNSはじめました！

学生の日常生活や最新のイベント情報を広く発信するため、XおよびInstagramの公式アカウントを開設しました。特にInstagramは、文学部の学生が主体となって企画・運営に携っており、学生ならではの視点による投稿が魅力です。ぜひご覧ください。



教育学部

杉良太郎氏に第34回ペスタロッcher教育賞を授与しました

5月28日、民衆教育の父と称えられるヨハン・ハインリヒ・ペスタロッcherの精神に通じた、優れた教育実践者(団体)を顕彰する「第34回ペスタロッcher教育賞」を歌手・俳優で法務省特別矯正監・厚生労働省特別健康対策監・警察庁特別防犯対策監の杉良太郎氏に授与しました。



法学部

法学部初年次インターンシップを実施しました

5月27日、1年生を対象にした初年次インターンシップを行いました。当日は160人の学生が広島地方裁判所と広島平和記念資料館に分かれて参加し、それぞれの現場で政治学、行政学、法学の視点から考える機会を得る貴重な体験となりました。



経済学部

卒業生と在学生との懇談会を開催しました

7月2日、広島大学広楓会(同窓会)主催の卒業生と在学生の懇談会を開催し、昼間コース1年生約130人が参加しました。卒業生が就職活動の経験や仕事運び、就業後の感想を紹介し、学生からは就職や試験に関する質問が寄せられました。



理学部

ホームカミングデー理学部企画 第29回中高生科学シンポジウムを開催します

11月7日、次世代を担う中学生・高校生を対象に「理学」への関心を深めるイベントを開催します。中学生・高校生(個人および団体)が日頃の研究成果や地域課題への取り組みを発表し、学生や理学部教員との意見交換を行います。詳細は理学部WEBサイトで公開。



医学部

医学研究実習の発表会・表彰式を行いました

7月に医学研究実習の発表会・表彰式を開催しました。医学科4年生は約4カ月間、学内外の研究室に配属され、基礎医学研究に取り組みました。学生たちはそこでの研究成果をポスターにまとめて発表し、優れた発表に対して表彰しました。



歯学部

歯学部二川浩樹教授が 紫綬褒章を受章

二川浩樹教授が、歯科医療における口腔内の殺菌・抗菌の研究を続ける中で開発された、抗菌・抗ウイルス成分を対象物表面に固定化し効果を持続させる「Etak(イー تاک)」の開発と社会実装の功績により、令和8年春の紫綬褒章を受章しました。



薬学部

広島大学薬学部 研究体験講座を開催しました

8月22～23日に高校1・2年生を対象とした「広島大学薬学部研究体験講座～薬学部で実験をしてみませんか?～」を開催。参加者は創薬や薬効評価、微生物研究などの実験に取り組みました。来年度も薬学や研究に興味のある高校生の参加をお待ちしています。

工学部

体験科学講座 ～女性の高校生対象～を開催しました

8月5日、工学部は女性の高校生を対象とした体験科学講座を開催し、48人が参加しました。参加者は工学部の紹介や入試「女子枠」の説明を受けた後、各コースで講義や実験・実習を体験し、工学分野への理解と関心を深めました。



生物生産学部

AIが変える酪農の未来 ～2週間先の乳量を予測～

杉野利久教授らの研究グループは、広島県やIT企業などと連携し、牛の活動量や牛舎環境、乳量データをAIで解析して2週間先の乳量を予測するシステムを開発しました。暑熱対策による生産性低下の抑制や需給の安定化が期待されており、NHKなど多くのメディアで紹介されました。

情報科学部

情報科学部公式Instagramを開設。 学生広報ディレクターが発信していきます

高校生が知りたい情報科学部の情報を発信するため、公式Instagramを開設しました。学生広報ディレクターとして任命された学生が、学生目線で授業や研究、キャンパスの様子などを発信していきます。



統合生命科学研究科

研究科間の交流を深める第11回 HU-Tomorrowを開催しました

統合生命科学与医系科学の学生が企画したHU-Tomorrowミーティングを開催しました。本研究科出身の本田大智さんと医系科学研究科教員が研究成果(口腔状態と健康寿命、ハエのがんモデル)やキャリアパスを紹介し、その後の質疑応答で大変盛り上がりしました。



医系科学研究科

「KASUMI異分野融合研究拠点」 公式WEBサイトを開設しました

霞と東広島が連携し、新たな価値を創出する「KASUMI異分野融合研究拠点」の設置に伴って、公式WEBサイトを開設。2027年1月には放射線影響研究所との合築棟1階に拠点スペースも整備予定で、拠点概要や研究活動、連携分野、セミナー情報を発信していきます。



スマートソサイエティ実践科学研究院

研究院初の博士号を授与

2026年3月に、本研究院の設立以降初めての博士号取得者(3人)を輩出しました!博士課程前期も含めた16人の修了生たちは、博士課程後期への進学や日本企業への就職、大学教員など、それぞれの新たな道へ進んでいます。



先進理工系科学研究科

大学院先進理工系科学研究科 説明会を行いました

8月9日、他大学や高専の学生を対象に研究科説明会を開催し、24人が参加しました。矢吹彰弘副研究科長が、本研究科博士課程前期の教育研究内容、入学者選抜、経済支援制度、修了後の進路などについて説明しました。



部活動・サークル紹介

広大生のアクティブライフ!



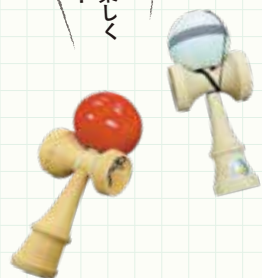
けん玉ワールドカップ出場
2025年紅白歌合戦
「酒灯り〜第9回けん玉世界記録への道〜」参加

“DAMAけん”

めずらしいサークルで、
ここでしか得られない経験を。

週2回、大学会館でのびのび練習中!
地域の子どもに教える「だま道場」や世界大会、紅白歌合戦への出演など、他では味わえない貴重な体験が満載です。部員の半分は未経験から始めているので初心者も大歓迎。毎年、廿日市市で行われる大会にも出場し、練習の成果を発揮しています。

初心者大歓迎!
ゆるい雰囲気です!
活動しています!



部員数 活動日
16人 週2回程度(17:00~20:00)
大学会館集会所

初心者大歓迎!
みんなで楽しく練習して、
良い結果を残せるのが
魅力です!

2023年 第75回西日本医科学生総合体育大会 総合準優勝
2024年 第76回西日本医科学生総合体育大会 総合準優勝
2025年 第77回西日本医科学生総合体育大会 総合準優勝
2025年 国民スポーツ大会 セーリング競技 出場
2026年 第78回西日本医科学生総合体育大会 総合優勝



“医学部ヨット部”

みんなで楽しく全力で海の楽しさを感じよう!

週末に広島観音マリーナで西日本医科学生総合体育大会優勝を目指し練習しています。ヨットは大学から始める人がほとんどで、努力が結果に直結するのが魅力です。みんなで楽しくアットホームな雰囲気です。教育熱心なメンバーが多く、楽しく全力で海の素晴らしさを感じながら、一緒に活動しましょう。



部員数 活動日
27人 3~10月の毎週末(7:00~19:00)
広島観音マリーナ

2月18~20日 第32回中四国学生弓道新人戦
男子団体ベスト8 女子団体A優勝 女子団体B 第3位
4月25~26日 第59回中国学生弓道競技大会 女子団体A 優勝
5月23~24日 第70回西日本学生弓道選手権大会 女子団体 優勝
優秀射手賞 部春香
6月21日 第50回広島県学生弓道親善試合
男子団体 Fチーム(田儀、延近、山本)準優勝
女子団体 Aチーム(青木、河野、大和)準優勝



“弓道部”

弓道は最高に楽しい!
個性豊かな部員と一緒に高め合おう!

男女共に中四国学生弓道選手権大会での優勝を目指して日々、練習に励んでいます。努力次第で着実に上達でき、礼儀作法や集中力も身に付きます。仲間と切磋琢磨する時間は最高に楽しく「新しいことに挑戦したい人」「仲間と熱中したい人」におすすめです!
(募集状況については、最新情報を確認してください。)

中四国学生弓道選手権大会の
優勝を目標に日々稽古に
励んでいます!



部員数 活動日
57人 週4回(月・水・金 18:00~21:00、
土 9:00~12:00)
本学弓道場

Campus Gallery

HU photos

Instagramで#広島大学の付いた投稿からお届けします。



投稿者 yusaku_kashiwagi さん
#広島大学

ひろティー活動記録



広島大学の農場を訪れたひろティー。教育・研究に活用されている牛舎では、子牛たちが元気にお出迎え。柵越しに顔を寄せてくるかわいらしい姿から、ひろティーが大歓迎されている様子が伝わってきます。

広島大学にまつわる写真を
#広島大学を付けてInstagramに投稿
してください。テーマは何でもOK!
素敵な写真をお待ちしています。

投稿
募集中!



投稿が掲載された方には
広島大学
オフィシャルグッズ
「トートバッグ」をプレゼント

※デザインは変わる場合があります

WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。

いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。



WEBアンケートはこちら

HU-plus

検索

読者プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計9名様にプレゼント!

※応募締切:2026年12月31日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

A 新書(サイン入り)

『西洋の敗北と日本の選択』
エマニュエル・トッド著
(文春新書)



3名様

B 広大オフィシャルグッズ

トートバッグ(マチなし)
※デザインは選べません



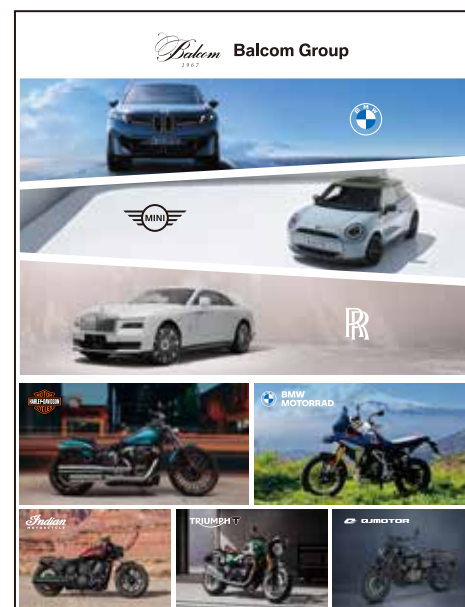
3名様

C ひろティー

ミニトートバッグ(マチあり)
※デザインは選べません



3名様



● 高額のご寄附をいただいた方(2026年5月まで)

個人 10億円以上
法人 20億円以上

佐竹 利子 様
〔特別栄誉学賞〕

個人 5億円以上
法人 10億円以上

岡田外科医院 様
〔栄誉学賞〕

個人 5000万円以上 法人 1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様
株式会社 サタケ 様
〔学賞〕
一般財団法人緑風会 様
〔学賞〕
山西 泰明 様
〔学賞〕

財団法人渋谷育英会 理事長
小丸 法之 様
〔学賞〕
池田 英明 様
〔学賞〕
松川 博之 様
〔学賞〕
矢野 博文 様
〔学賞〕

個人 1000万円以上 法人 2000万円以上

株式会社パレコム 代表取締役
山坂 哲郎 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人社団まりも会
ヒロシマ平松病院 会長
平松 廣夫 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
越智 光夫 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
平尾 泰保 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
猫本 宏司 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人社団
浜中皮ふ科クリニック 理事長
浜中 和子 様
〔名誉校友〕
晝馬 輝夫 様
〔名誉校友〕
アビ株式会社 代表取締役社長
野々垣 孝彦 様
〔名誉校友〕
医療法人あかね会 理事長
土谷 治子 様
〔名誉校友〕
株式会社広島銀行
代表取締役頭取
部谷 俊雄 様
〔名誉校友〕
株式会社村上農園
代表取締役
村上 清貴 様
〔名誉校友〕
医療法人たんぽぽ会 理事長
大嶋 俊一 様
〔名誉校友〕
小野 光代 様
〔名誉校友〕
村上 清貴 様
〔名誉校友〕
株式会社メンテックワールド
代表取締役社長
小松 節子 様
〔名誉校友〕

児玉 治 様
〔名誉校友〕
医療法人社団昭信会
瀬島産婦人科病院
理事長
瀬島 信 様
〔名誉校友〕
医療法人社団ヤマナ会
会長
山名 征三 様
理事長
山名 二郎 様
〔名誉校友〕
株式会社信和不動産
代表取締役社長
和田 正男 様
〔名誉校友〕
児玉 咲子 様
〔名誉校友〕
東洋観光グループHD
日本基準寝具株式会社
代表取締役
今井 誠則 様
〔名誉校友〕
勝矢 博 様
〔名誉校友〕
三嶋 弘 様
〔名誉校友〕
鶴野 俊雄 様
〔名誉校友〕
徳永 彰 様
〔名誉校友〕
星山 政昭 様
〔名誉校友〕
天野 純子 様
〔名誉校友〕
邱文揚 様・石貴容 様
〔名誉校友〕
田中 隆莊 様
〔名誉校友〕
藤岡 道治 様
〔名誉校友〕
和田 正男 様
〔名誉校友〕

個人 500万円以上 法人 1000万円以上

オタフクソーズ株式会社
取締役会長
佐々木 直義 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人社団仁慈会
安田病院 理事長
安田 真衣子 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人社団楓会
林病院 理事長
林 淳二 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人社団伯瑛会
のぞみ整形外科 理事長
金田 瑛司 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
戸田工業株式会社
代表取締役社長執行役員
久保 恒晃 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
坂下 勝 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
医療法人社団みめぐみ会
会長
中村 雄二 様
〔名誉校友〕
株式会社築地
代表取締役
平尾 眞裕美 様
〔名誉校友〕
広島ガス株式会社 様
〔名誉校友〕
医療法人せのがわ
瀬野川病院
下原 唯千夏 様
〔名誉校友〕

社会医療法人社団沼南会
沼南病院 理事長
檀谷 鞠子 様
〔名誉校友〕
医療法人恒和会松石病院
理事長
松石 頼明 様
〔名誉校友〕
医療法人社団玄同会
理事長
小畠 敬太郎 様
〔名誉校友〕
医療法人
多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
〔名誉校友〕
株式会社合人グループ
代表取締役
福井 滋 様
〔名誉校友〕
西川ゴム工業株式会社
代表取締役 会長
西川 正洋 様
〔名誉校友〕
広島信用金庫
会長
武田 龍雄 様
〔名誉校友〕
理事長
川上 武 様
〔名誉校友〕
広島電鉄株式会社
代表取締役会長
原田 昭 様
〔名誉校友〕
広島ロータリー
クラブ 様
〔名誉校友〕

広島大学消費生活協同組合
理事長
細野 賢治 様
広島大学歯学部
同窓会 様
株式会社ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
公益社団法人
内外いくえい会
代表理事
高橋 喜人 様
広島大学歯学部
歯科補綴学
第一講座同門会 様
医療法人社団
慈恵会いまだ病院
院長
大杉 健 様
〔冠寄附者〕
医療法人社団清流会
理事長
永井 賢一 様
株式会社にしき堂
代表取締役社長
大谷 博国 様
〔冠寄附者〕
医療法人社団マッキー
理事長
松木 啓 様
〔冠寄附者〕
株式会社日本
クラスメイトシステムズ 様
〔冠寄附者〕
医療法人
昭和原田整形外科病院
理事長
原田 昭 様
〔冠寄附者〕
医療法人社団
スマイル博愛クリニック
理事長
高杉 啓一郎 様
〔冠寄附者〕
医療法人S.R.C.
中光整形外科
リハビリクリニック
院長
中光 清志 様
〔冠寄附者〕
医療法人KOC
金谷整形外科
クリニック
理事長
金谷 篤 様
〔冠寄附者〕
医療法人明笑会
理事長
安本 正徳 様
〔冠寄附者〕
株式会社やまだ屋
代表取締役
中村 靖富満 様
〔冠寄附者〕
株式会社総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様
〔冠寄附者〕
医療法人辰川会
理事長
辰川 自光 様
〔冠寄附者〕
医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
〔冠寄附者〕
もみじ銀行 様
〔冠寄附者〕
医療法人社団知仁会
理事長
石井 知行 様
医療法人社団井野口病院
会長
井野口 千秋 様
〔冠寄附者〕
一般社団法人
佐藤 利行 様
〔冠寄附者〕
宮崎 成樹 様
〔冠寄附者〕
登田 隆 様
〔冠寄附者〕
浅野 宏国 様
〔冠寄附者〕
川真田 智子 様
〔冠寄附者〕
早川 武敏 様
〔冠寄附者〕
海生 俊史 様
〔冠寄附者〕
内池 平樹 様
〔冠寄附者〕
中田 俊司 様
〔冠寄附者〕
浜中 和子 様
〔冠寄附者〕
原田 昭 様
〔冠寄附者〕
藤井 博之 様
〔冠寄附者〕

田中電機工業株式会社
代表取締役
田中 秀和 様
田中 純子 様
〔冠寄附者〕
原田 康夫 様
大正富士医薬品株式会社
代表取締役社長
藤田 憲一 様
高嶋 俊治 様
〔冠寄附者〕
緒方 俊平 様
〔冠寄附者〕
山本 清隆 様
〔冠寄附者〕
医療法人
せいざん青山病院
院長
大村 泰 様
株式会社立芝
代表取締役社長
田中 修司 様
医療法人サカもみの木会
理事長
坂 信一 様
医療法人ワカサ会
理事長
若佐 直定 様
大嶋 俊一 様
しらつき齒科医院
院長
白築 俊彦 様
広島大学体育会
硬式野球部OB会
会長
村井 研一 様
株式会社Alumnote
代表取締役社長
中沢 冬芽 様
大谷 美奈子 様
森本 忠雄 様
医療法人K&Clover
理事長
小林 健二 様
〔冠寄附者〕
医療法人みなみ会
理事長
星野 修司 様
向笠 富夫 様
今治造船株式会社
代表取締役社長
檀垣 幸人 様
医療法人社団輔仁会
太田川病院 様
株式会社内藤建築事務所
代表取締役社長
川本 雄三 様
白築 秀美 様
広島市信用組合 様
三島食品株式会社 様
温泉川 梅代 様
広島市医師婦人会 様
Micron Technology
Foundation, Inc. 様
医療法人ピーアイエー
理事長
中村 英雄 様
奥田 晃章 様
広島大学
総合科学部同窓会 様
谷村 秀樹 様
公益財団法人
常石造船株式会社 様
石井 知行 様
医療法人社団井野口病院
会長
井野口 千秋 様
医療法人社団慶寿会
千代田中央病院
理事長
北尾 憲太郎 様
医療法人社団慈恵会
土肥整形外科病院 様
株式会社タケツチ建設
代表取締役
竹内 謹治 様
株式会社フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
原田 知 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
広島大学歯学部
同窓会広島県支部 様
広島日野自動車株式会社
代表取締役社長
上野 孝史 様
藤本 吉範 様

丸正産業株式会社
代表取締役
高羽 謙 様
山本 佳史 様
RF技研工業株式会社
代表取締役
玉村 俊雄 様
相田 美砂子 様
秋野 成人 様
井川 幹夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
藤井 博之 様
〔名誉校友〕
福田 和恵 様
福田 幸雄 様
藤村 欣吾 様
復建調査設計
株式会社 様
堀 司郎 様
増井 孝子 様
松村 誠 様
道中 美敏 様
三村 邦雄 様
村上 恒二 様
望月 可奈子 様
八幡浜市役所 様
山田 征士郎 様
ヤマネホールディングス
株式会社
代表取締役社長
山根 誠一郎 様
有有限会社
メソソ手恵多
代表取締役
上田 邦恵 様
横崎 恭之 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
中原 勇人 様
西口 千登志 様
西竺 晴久 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
藤井 博之 様
〔名誉校友〕
福田 和恵 様
福田 幸雄 様
藤村 欣吾 様
復建調査設計
株式会社 様
堀 司郎 様
増井 孝子 様
松村 誠 様
道中 美敏 様
三村 邦雄 様
村上 恒二 様
望月 可奈子 様
八幡浜市役所 様
山田 征士郎 様
ヤマネホールディングス
株式会社
代表取締役社長
山根 誠一郎 様
有有限会社
メソソ手恵多
代表取締役
上田 邦恵 様
横崎 恭之 様

山本薬品株式会社
代表取締役
山本 浩司 様
RF技研工業株式会社
代表取締役
玉村 俊雄 様
相田 美砂子 様
秋野 成人 様
井川 幹夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
藤井 博之 様
〔名誉校友〕
福田 和恵 様
福田 幸雄 様
藤村 欣吾 様
復建調査設計
株式会社 様
堀 司郎 様
増井 孝子 様
松村 誠 様
道中 美敏 様
三村 邦雄 様
村上 恒二 様
望月 可奈子 様
八幡浜市役所 様
山田 征士郎 様
ヤマネホールディングス
株式会社
代表取締役社長
山根 誠一郎 様
有有限会社
メソソ手恵多
代表取締役
上田 邦恵 様
横崎 恭之 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
中原 勇人 様
西口 千登志 様
西竺 晴久 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
藤井 博之 様
〔名誉校友〕
福田 和恵 様
福田 幸雄 様
藤村 欣吾 様
復建調査設計
株式会社 様
堀 司郎 様
増井 孝子 様
松村 誠 様
道中 美敏 様
三村 邦雄 様
村上 恒二 様
望月 可奈子 様
八幡浜市役所 様
山田 征士郎 様
ヤマネホールディングス
株式会社
代表取締役社長
山根 誠一郎 様
有有限会社
メソソ手恵多
代表取締役
上田 邦恵 様
横崎 恭之 様

株式会社信和不動産
代表取締役社長
和田 正男 様
〔名誉校友〕
アビ株式会社
代表取締役社長
野々垣 孝彦 様
〔名誉校友〕
和田 正男 様
〔名誉校友〕
医療法人たんぽぽ会
理事長
大嶋 俊一 様
〔名誉校友〕
藤井 博之 様
〔名誉校友〕
山本 透 様

医療法人社団仁慈会
安田病院 理事長
安田 真衣子 様
〔名誉校友〕〔冠寄附者〕
広島市医師婦人会 様
広島大学
総合科学部同窓会 様
山中 亮一 様
渡邊 篤 様
川島 優子 様
一般社団法人
広島大学工学同窓会 様
一般社団法人
広島大学東雲同窓会 様

株式会社河野
代表取締役社長
河野 幹章 様
倉本 剛介 様
鈴木 淳司 様
大作 浩一 様
東儀 宣哲 様
中島 亨 様
難波 英子 様
広島大学体育会
同窓会 様
真鍋 英嘉 様
宮本 博子 様
山本 清隆 様

株式会社河野
代表取締役社長
河野 幹章 様
倉本 剛介 様
鈴木 淳司 様
大作 浩一 様
東儀 宣哲 様
中島 亨 様
難波 英子 様
広島大学体育会
同窓会 様
真鍋 英嘉 様
宮本 博子 様
山本 清隆 様

100万円以上

浅野 宏国 様
〔名誉校友〕
医療法人社団慶寿会
千代田中央病院
理事長
北尾 憲太郎 様
医療法人社団伯瑛会
のぞみ整形外科
理事長
金田 瑛司 様
〔名誉校友〕
和田 正男 様
〔名誉校友〕
医療法人たんぽぽ会
理事長
大嶋 俊一 様
〔名誉校友〕
藤井 博之 様
〔名誉校友〕
山本 透 様

株式会社
ニシキコネット 様
株式会社部活のみかた
代表取締役
坂根 勝幸 様
平石 淳一 様
山口 慶剛 様
井上 明 様
片岡 葉子 様
山下 智晴 様
杉本 靖 様
瀧口 新 様
西田 祐樹 様
山本 一 様
谷 友博 様
中嶋 康一 様
西本 和弘 様
丸山 博文 様
森山 健 様
守分 勇馬 様
広島大学
マスコミ人の会 様
アイマネージ合同会社 様
丸丸 壽美 様
安藤 千景 様
石谷 裕二 様
糸添 夏樹 様
福田 隆司 様
水谷 文彦 様
三谷 脩 様
山崎 慶祐 様
和田 章 様
広エグリーン会
村上 浩治 様

株式会社河野
代表取締役社長
河野 幹章 様
倉本 剛介 様
鈴木 淳司 様
大作 浩一 様
東儀 宣哲 様
中島 亨 様
難波 英子 様
広島大学体育会
同窓会 様
真鍋 英嘉 様
宮本 博子 様
山本 清隆 様
株式会社河野
代表取締役社長
河野 幹章 様
倉本 剛介 様
鈴木 淳司 様
大作 浩一 様
東儀 宣哲 様
中島 亨 様
難波 英子 様
広島大学体育会
同窓会 様
真鍋 英嘉 様
宮本 博子 様
山本 清隆 様

宇都宮 崇 様
尾上 亮 様
岡村 智司 様
沖川木材株式会社 様
奥道 正也 様
落合 みずほ 様
小野 雅重 様
勝岡 義博 様
川楠 誠司 様
川島 敏彦 様
木内 啓司 様
菊間 秀樹 様
岸田 和巳 様
木下 康之 様
楠田 祥士 様
柴原 兵二郎 様
小嶋 泰紀 様
齋藤 修 様
堺 博志 様
阪上 潤 様
柴 秀樹 様
長谷川 公一 様
判田 敬四郎 様
政川 俊史 様
松浦 明子 様
吉本 良子 様
渡辺 信治 様
新井 恵子 様
一丸 八郎 様
高野 はいね 様
目黒 宣之 様
明神 宣之 様

田村 かすみ 様
陳 松志 様
津賀 一弘 様
照屋 操 様
特定非常利活動法人
がんと闘う広島
ネットワーク
代表
永田 靖 様
富永 美穂子 様
渡守武 弘子 様
鳥居 聖 様
川川 彰一 様
長沼 毅 様
中村 誠 様
中村 靖富満 様
谷 平康吉 様
内藤 真理子 様
原田 篤 様
平田 勝裕 様
藤岡 秀男 様
保科 亨 様
屋敷 太郎 様
安福 晴子 様
柳原 利規 様
吉本 良子 様
渡辺 信治 様
新井 恵子 様
一丸 八郎 様
高野 はいね 様
目黒 宣之 様
明神 宣之 様

三好 修基 様
目黒 未由佳 様
森岡 敬子 様
森田 昌樹 様
安永 実 様
有限会社アドバン 様
和田 昭 様
宮本 真次 様
川本 昌宏 様
神田 篤 様
木田 徳司 様
國川 美智子 様
清水 秀明 様
竹重 優花 様
谷 平康吉 様
内藤 真理子 様
原田 篤 様
平田 勝裕 様
藤岡 秀男 様
保科 亨 様
屋敷 太郎 様
安福 晴子 様
柳原 利規 様
吉本 良子 様
渡辺 信治 様
新井 恵子 様
一丸 八郎 様
高野 はいね 様
目黒 宣之 様
明神 宣之 様

阿武 知弘 様
石井 瑛之 様
石原 久司 様
植原 暢哉 様
株式会社勝梅園 様
鎌田 純男 様
絹谷 雅幸 様
児玉 佳子 様
櫻井 翔太 様
塩本文夫 様
下西 和修加 様
杉村 和美 様
手島 辰弥 様
豊永 久生 様
橋本 富吉 様
濱浪 公太 様
平岡 大作 様
馬瀬 真司 様
三角 政義 様
森 千里 様
前内 克俊 様
吉田 洋 様
出口 眞二嗣 様
岸本 紀昭 様
木下 安展 様
島本 翔大 様
寺川 美賢 様

(寄附開始年月／累計額)

冠事業基金

(2026年5月現在)

2015年度から新たに、寄附をいただいた方のご芳名などを冠して、寄附者様のご厚意が見える形にした「広島大学冠事業基金」を創設しました。寄附方法は、一口5万円の毎月の継続寄附で、当面は外国人留学生への奨学金と日本人学生への海外留学資金に活用します。

医療法人社団慈恵会
いまだ病院
院長
大杉 健 様
〔冠寄附者〕
(2015.11～/635万円)
株式会社にしき堂
代表取締役社長
大谷 博国 様
〔冠寄附者〕
(2016.4～/610万円)
株式会社矢野商事
代表取締役社長
松村 公市 様
〔冠寄附者〕
(2015.8～/1290万円)
越智 温子 様
〔冠寄附者〕
(2016.2～/620万円)

医療法人KOC
金谷整形外科クリニック
理事長
金谷 篤 様
〔冠寄附者〕
(2017.2～/510万円)
オタフクソーズ株式会社
取締役会長
佐々木 直義 様
〔冠寄附者〕
(2016.1～/非公開)
医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
〔冠寄附者〕
(2016.8～/590万円)
株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
〔冠寄附者〕
(2016.9～/非公開)

株式会社やまだ屋
代表取締役
中村 靖富満 様
〔冠寄附者〕
(2017.1～/非公開)
株式会社
日本クライメイト
システムズ 様
〔冠寄附者〕
(2019.6～/680万円)
株式会社総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様
〔冠寄附者〕
(2016.3～/615万円)
医療法人社団楓会 林病院
理事長
林 淳二 様
〔冠寄附者〕
(2016.3～/615万円)

医療法人
昭和原田整形外科病院
理事長
原田 昭 様
〔冠寄附者〕
(2015.10～/635万円)
平尾 泰保 様
〔冠寄附者〕
(2019.6～/680万円)
医療法人社団まりも会
ヒロシマ平松病院
会長
平松 廣夫 様
〔冠寄附者〕
(2016.1～/1250万円)
医療法人社団マッキー
理事長
松木 啓 様
〔冠寄附者〕
(2016.1～/695万円)

ご芳名は、公開についてご承諾いただいた方を掲載させていただきます。掲載している情報は、ご寄附当時のものです。〔特別校友〕の称号については、誌面の都合により割愛させていただきます。

支援を受けた学生の声

フェニックス奨学生としての広島大学での4年間

中学生の頃、小学校での職業体験学習をきっかけに教育の道を志し、広島大学教育学部への進学を決意しました。ただ、母子家庭のため経済面で不安を抱えていました。しかし、入学料・授業料の全額免除に加え月額10万円が給付される「フェニックス奨学制度」を知り、合格に向けていっそう受験勉強に励んだ結果、無事にフェニックス奨学生として入学することができました。

在学中は返還不要の手厚い支援のおかげで経済面を心配せず、英語やドイツ語、韓国語の学習やそれらの資格取得に挑戦できました。また、教育学部の「フレンドシップ事業」では学生リーダーを務めました。自身の力不足に悩むこともありましたが、多くの仲間を支えられ活動を全うした経験は、何物にも代えがたい大きな自信と成長の糧となりました。

卒業後は市役所に入庁予定です。大学で学んだ知識を土台に、教育や福祉の面からより良い社会を築くために貢献したいと考えています。

この4年間、安心して学業に取り組み、多くのことに挑戦した学生生活を送ることができたのは、ご支援のおかげです。本当にありがとうございました。



支援を受けた学生の紹介は
こちらから
ご覧いただけます。



龍本 土 さん

教育学部第一類 4年

※所属、学年は取材当時のもの

広大さんぽ



秋の気配

厳しい暑さが少しずつ和らぎ、広島大学のキャンパスにも秋の気配が漂い始めます。夏から秋へと移り変わるこの季節は、一日ごとに景色の表情が変わる特別な時間。何気なく歩く通学路や、ふと立ち止まった先にも、季節の移ろいを感じる瞬間が隠れています。ゆつくりと深まる秋。いつものキャンパスを歩きながら、この時季ならではの風景を探してみませんか。

① 木々も少しずつ秋色へ

高く澄んだ青空の下、キャンパスの木々にも黄色や赤がちらほら。鮮やかな緑に秋の色が混じり始めています。木漏れ日の中、いつもの道を歩けば、少しずつ移ろう季節の気配に出会えます。

② オミナエシ、秋を彩る

秋の七草の一つ、女郎花（オミナエシ）。鮮やかな黄色の花が風に揺れ、夏の名残を感じるキャンパスに、ひと足早く秋の気配を届けてくれます。

提供：広島大学デジタルミュージアム 撮影者：理学部生物科学科4年 竹内史
たけうちふみと

③ 夕暮れ、キャンパスのシルエット

日が沈み、山の端に淡い光が残るころ。夕空には細い月が浮かび、フェニックスタワーにも明かりがとまります。昼間とは違う静けさに包まれながら、キャンパスの一日がゆつくりと暮れていきます。



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学

編集・発行：広島大学 広報室

〒739-8511 広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

<https://www.hiroshima-u.ac.jp>

